

1. 科目名 (単位 数)	高齢者福祉論 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP1101 SBMP1301
2. 授業担当教員	金 貞任		
4. 授業形態	講義、グループレポート作成と発表、ディスカッション、小テスト	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	人類の長年の願望だった長寿化社会の実現が先進国のみならず開発途上国でも見られる現象となった。現在日本は、少子高齢化の影響で人口の減少と介護人材の不足が社会問題となっており、社会が健全に発展するためには、少子・高齢社会の的確な現状の把握と問題の本質を理解し、ニーズに基づいた積極的な対応が必要である。 本講義では、第1に、人口構造と世帯構成、高齢者の精神的・身体的状態、経済的状态など高齢者を取り巻く環境について理解を深める。第2に、高齢者福祉の発展過程として高齢者福祉制度の萌芽から老人福祉法、現在に至るまでの変化について検討する。第3に、支援が必要な虚弱高齢者、予防高齢者と要介護高齢者の現状、公的サービスの現状と問題点などについて把握する。第4に、介護保険法に規定されている介護に関連する介護予防と各種サービス、ケアマネジメント、終末期ケアなど諸事項に関する法律について、現状と問題点を検討する。最後に、要介護状態になっても住み慣れた地域や選好する場所で生活し続けるためには、どのような政策や実践が必要であるかを地域で調査を実施し、社会に貢献できることを目指す。		
8. 学習目標	1. 人口学的特徴とライフサイクルの観点から高齢者の生活実態や世帯構成、経済的状况について理解を深める。 2. 高齢者福祉制度の仕組み、発展過程と課題について理解を深め、今後実現可能な政策とは何かを調査する。 3. 公的介護保険制度の現状と問題点について把握し、要介護高齢者の介護ニーズに適切に対応するために解決すべき課題を把握する。 4. 高齢者ニーズを満たす方法として、血縁関係のみならず地域ネットワークの在り方についても理解を深め、高齢者が社会参加を積極的にするためには、どのような環境づくりが必要であるか、調べる。 5. 終末期ケアの在り方（人間観や倫理を含む）について理解し、高齢者が望む場所で最期を迎えるために、必要な政策と地域ネットワークのありがたを理解する。 6. 介護保険制度の仕組みについて理解を深め、介護サービス事業所の現状と問題点を調査し、改善策を把握する。 7. 相談援助活動において、要介護高齢者の人権を守るための成年後見制度など法制度の内容を理解し、成年後見制度が普及しない理由や問題点を把握する。 8. 本科目は、国家試験科目であり、国家試験に通用するレベルまで実力アップを図ることを目指す。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポ ート課題	1. グループごとに介護サービス事業所の現状と問題点、今後解決すべき課題とは何かを明らかにするために介護事業所のキーパーソンを対象にインタビュー調査の実施し、レポートを作成します。 2. レポートの提出期限を厳守します。 3. 事前学習・事後学習を徹底的にします。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 杉本敏夫・橋本有里子編、『学びを追及する高齢者福祉』教育情報出版。 【参考書】 社会福祉士養成講座編集委員会『高齢者に対する支援と介護保険制度』中央法規。 *授業中に適宜資料を配布する。 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 高齢社会の理解と高齢者の特徴について理解されているのか 2. 高齢者と関連した法律や制度について理解されているか 3. 介護保険制度（財政やサービス等）について理解されているのか ○評定の方法 1. ミニテスト及び授業への積極的な参加度（討議や発表など）：40% 2. 課題レポート及び予習ノート：30% 3. 総括テスト：30%		
12. 受講生への メッセージ	＜受講生に期待される学習態度＞ 1. 高齢者福祉論を学ぶ理由を常に考え、論理的に答えることができるように務めます。 2. 宿題と発表は、義務として完成させる必要があります。 3. 授業には自分なりの問題意識や課題を持って、積極的な態度で参加することを望みます。 4. 理解できないことや疑問点がある場合は、必ず質問してください。質問することは、学んでいる者にとって決して恥ずかしいことではありません。 5. 授業中に他人の発表や質問などに傾聴し、本人と異なる点と共通点を発見してください。 6. 授業は、正当な理由がない限り欠席・遅刻・早退をしないでください。 7. 発表とレポート等の提出期限を厳守してください。発表とレポート提出期限を守らない場合は、正当な理由がない限り減点になります。 8. 授業中の私語、居眠り、携帯電話の作動、飲食等、学習活動を妨げる行為は厳禁とします。		
13. オフィスアワー	別途連絡する		

14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	講義概要についてシラバスを中心に説明 高齢者のイメージについてディスカッション	事前学習	高齢者福祉論のノートを準備し、講義に臨むこと
		事後学習	高齢者の身体的特性について、教科書とインターネットを利用して具体的に調べる。
第2回	高齢者の生活の現状と課題（2章）	事前学習	高齢者の生活の現状について、重要な部分をノートに整理する（pp. 21-30）。
		事後学習	高齢者の生活の問題とは何かを自分の言葉でまとめる
第3回	高齢者福祉の発展過程（3章）	事前学習	高齢者福祉の発展過程について、重要な部分をノートに要約する（pp. 31-36）。
		事後学習	高齢者福祉の発展過程において、法律の改正が必要な理由について吟味する
第4回	高齢者の特性及び症状（4章）	事前学習	高齢者の特性及び症状についてノートに要約する（pp. 37-48）。
		事後学習	高齢者の特性と症状について、重要な部分をノートに要約する（pp. 37-48）。
第5回	介護保険制度とは何か（8章）	事前学習	介護保険制度の創設の理由と仕組みなどについてノートに整理する（pp. 96-104）。
		事後学習	介護保険制度が必要な理由と問題点は何かについて整理する。
第6回	介護支援専門員とは何か、ケアプラン作成	事前学習	居宅介護支援事業所と介護支援専門員の仕事の内容、問題点は何かについて、新聞記事やインターネットを使い調べ、ノートに整理する。
		事後学習	居宅介護支援者は、どのような方法でプランを設定する必要があるか考える。
第7回	介護の現状と家族支援（5章）	事前学習	介護の現状と家族支援のありかたについて、重要な部分をノートに要約する（pp. 50-64）。
		事後学習	高齢者に対する家族支援が必要な理由について吟味する。
第8回	認知症ケアと終末期ケア：（DVD感想）（6章）、ディスカッション	事前学習	認知症ケア、終末期ケアの現状と問題点についてノートに整理する（pp. 70-74）。
		事後学習	ビデオ感想文を作成する（1,000字程度）。
第9回	高齢者福祉に関する法制度（7章）	事前学習	老人福祉法、高齢者の虐待、高齢者の雇用などに関する法律をノートに整理する（pp. 75-94）。
		事後学習	新聞やニュースで報じられている高齢者の虐待について、最近の事件を調べ、解決策とは何かを考える
第10回	介護保険制度の現状と問題点：VTR 施設サービスと居宅サービスの事業所に対するインタビュー調査内容の作成（グループ作業）	事前学習	介護保険制度の施設サービスと居宅サービスの種類について、サービス内容をノートに整理する（pp. 105-132）。
		事後学習	インタビュー調査の内容を完成する。インタビュー先事業所に連絡し、訪問調査の日程の調整などをする。（グループ作用）。
第11回	介護保険サービス事業所のキーパーソンを対象としたインタビュー調査：現地調査・電話調査（グループ作業）	事前学習	介護事業所のキーパーソンへのインタビュー調査の依頼、インタビュー調査の内容のチェック。
		事後学習	インタビュー調査のテープ起こしと内容の整理、発表資料作成（教科書とインターネットで調べた内容も引用する）（グループ作業）。
第12回	介護保険者（市町村）、介護老人福祉施設（短期入所も含む）、老人保健施設、介護療養型医療施設、地域包括支援センター、軽費老人ホームについて発表（グループ発表）	事前学習	インタビュー調査の発表内容の最終チェック（教科書とインターネットで調べた内容も含む）と発表練習、配布資料のコピー（グループ作業）。
		事後学習	介護入所施設の長所を生かし、短所を改善するためには何が必要であるかを考える。反省会（発表グループ）。
第13回	居宅サービス事業所：訪問看護事業所、訪問介護事業所、認知症対応型共同生活介護、地域密着型サービス、社会福祉協議会について発表（グループ発表）	事前学習	インタビュー調査の発表内容の最終チェック（教科書とインターネットで調べた内容も含む）と発表練習、配布資料のコピー（グル

			ープ作業)。
		事後学習	在宅サービス事業所の問題とは何か、その問題を解決するためには、何が必要であるか、新聞記事や IT を使い調べ、整理する。反省会（発表グループ）。
第 1 4 回	福祉用具事業所、有料老人ホームについて発表（グループ発表）。高齢者の生きがい：VTR	事前学習	インタビュー調査の発表内容の最終チェック（教科書とインターネットで調べた内容も含む）と発表練習、配布資料のコピー（グループ作業）。生きがいが必要な理由、生きがいの種類について、新聞記事や IT を使い調べ、ノートに整理する。
		事後学習	反省会（発表グループ）。生きがいが見つからない高齢者への援助方法について調べる（pp. 142-147）。
第 1 5 回	授業のまとめ、ディスカッション	事前学習	高齢者福祉を勉強する必要性と授業で発見したことをノートに整理する。
		事後学習	高齢者が生きやすい社会を目指すために、ソーシャルサポートとソーシャルネットワークがどうあるべきかについて IT など調べ、まとめる。